

創設60周年 記念誌

Since 1963

柏市青少年相談員連絡協議会

表紙裏白紙

目 次

- 1 主催者あいさつ
- 2 60周年によせて
- 3 60年のあゆみ
- 4 連協事業・専門部活動・コロナ禍の相談員活動
- 5 学区活動

60周年メッセージ

子どもたちとともに 60年の想いをつなぐ
～青少年相談員の新時代へ～

時代が変わっても変わらないのは
子どもたちの笑顔とそれを大切にしたいわたしたちの想い

積み重ねた60年の【伝統】を大事にしながら、
新たな時代にチャレンジしていく【革新】も取り入れ

「想い」が巻き起こす笑顔と絆を繋げ新時代に進んでまいります

ふれあいが困難なこの時代にわたしたち青少年相談員は
「地域の大人」として子どもたちや仲間との活動と
「想い」を大事にする存在であり続けます



子どもたちとともに、60年の想いをつなぐ



第21期柏市青少年相談員連絡協議会会長

中川 早苗

『明るい未来の建設は、青少年の健全なエネルギーに期待しなければならない。青少年期は、将来、社会において重要な役割を果たすための準備期であり、人間形成にとって大切な時期であるので、家庭・学校・地域社会での適切な対応が望まれる。

このためには、社会共同の連帯意識のもとで県民すべてが、あらゆる機会、あらゆる場面で育成活動にあたる必要があるので、青少年と真に一体となり、共に喜び、共に語り、共に行動する青少年相談員を設け、その地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に資するものとする。』

昭和38年（1963年）に千葉県青少年相談員設置要綱の趣旨のもと、柏市青少年相談員制度が発足してから、今年で60年を迎えます。この節目に第21期柏市青少年相談員179名とともに迎えられたことを心から嬉しく思っております。また今日まで活動を支え、受け継いできた先輩相談員のみなさま、さらには関係各所・団体の多くの方々に、心から感謝申し上げます。

60年という時間の中で、元号は「昭和」から「平成」そして「令和」に変わりました。東日本大震災やコロナ禍など、いままでの生活を根底から覆す出来事もありました。昨今では、「熱中症」という新たな懸念が起こってきています。これらの環境の変化に対して、私たちの生活習慣や価値観、生き方に至るまで「変わる」を余儀なくされ、私たち青少年相談員の活動も、今までと同じようにはいなくなってきました。

しかし長い目で見ると、歴史は変化の繰り返しです。先輩方も幾度となく変化に直面し、その時々で「今、子どもたちのために出来ることはなんだろう？」と真剣に考えて取り組んできたことでしょう。地域の子どもたちのために地域の大人たちが相談（話し合う）する。その姿が「相談員」という名前の由来なのかもしれません。そして、時代の大きな流れの中でも、その受け継がれてきた「想い」を胸に、柏市青少年相談員は、これからも、身近である中学校区というコミュニティを中心とした活動を続け、柏市の子どもたちのために信頼を拡げ、未来を拓いてまいりたいと考えております。

終わりに、この記念事業に際し、多くの関係各位の絶大なるご支援、ご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。今後とも柏市青少年相談員の活動への一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

柏市青少年相談員連絡協議会

60th
Anniversary



60周年によせて

千葉県知事

熊谷俊人

柏市長

太田和美

柏市教育委員会教育長

田牧 徹

第18期 柏市青少年相談員連絡協議会会長

中川由利

第19期 柏市青少年相談員連絡協議会会長

嶋田雅彦

柏市青少年相談員賛助会会長

大瀬宏美

柏市青少年相談員連絡協議会 60周年を記念して



千葉県知事

熊谷 俊人

柏市青少年相談員連絡協議会が60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

千葉県青少年相談員制度は、昭和38年に発足して以来、「青少年を地域で守り育てる」という理念の下、青少年の健全育成に大きな役割を果たしてまいりました。

貴協議会の相談員の皆様におかれましても、日頃から地域に根差した様々な事業を幅広く展開されるとともに、長年にわたり地域における青少年健全育成のリーダーとして御尽力いただいていることに、深く感謝申し上げます。

近年、スマートフォンなどの情報通信機器の目覚ましい発達と普及に伴い、インターネット上の様々なトラブルに巻き込まれるケースが増えるとともに、児童虐待、いじめによる自殺、不登校、引きこもり、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、青少年を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。

このような中、県では、社会全体で子ども・若者を支える社会づくりに取り組むため、令和5年3月に「第4次千葉県青少年総合プラン」を策定し、多様化・複雑化する青少年問題に的確に対応するとともに、「起業家精神を有する人材の育成」「次世代芸術家の応援」「様々な分野担い手となる若者の応援」など、新たな発想で果敢に挑戦していく人材の育成や支援に取り組むこととしております。

今年は千葉県が誕生してから150年の節目の年となります。県では、この150周年という機会に、先人たちが築き上げてきた社会基盤や文化を振り返るきっかけを作ることで、地域への誇りと愛着を深め、続いていく未来へ思いを馳せていただくとともに、未来の千葉県を生きる子ども・若者を青少年相談員の皆様とともに守り育ててまいります。

青少年の健全育成・非行防止施策の推進には、地域で活動している皆様の知識や経験、御尽力が必要です。皆様の一層の御協力をお願いして、柏市青少年相談員連絡協議会60周年に当たってのお祝いの言葉といたします。

つづくを、つなぐ。



柏市長

太田 和美

柏市青少年相談員連絡協議会が創立 60 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

千葉県青少年相談員制度は、青少年施策を総合的に推進するとともに、社会全体で青少年の成長を支え、守り育てていくことを目的に昭和 38 年 10 月に全国に先駆けて発足しました。これまで地域の青少年に多くの貴重な経験や感動を与えていただいたことに、深く感謝申し上げます。

さて、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の流行があり、青少年相談員の活動においても様々な困難があったかと思えます。私が柏市長に就任したころ、「謎解きウォーク 2021 in 柏の葉はらぺこチーバくんを救え！」に参加させていただきました。コロナ禍ではありましたが、子どもたちのために歩みを止めず、寄り添い一緒に楽しんでいる姿を見て、相談員の皆様の熱い思いを感じると共に、とても心強く感じました。

皆様の活動は、かけがえのない存在であり、地域と子どもたちをつなぐ大切な役目を担っておりますので、引き続き地域の子どものためにお力をいただければと思います。よろしく願い申し上げます。

さて、この度、柏市では「つづくを、つなぐ。」をブランドスローガンに掲げました。これは、市の名前でもあるカシワの木に由来しています。カシワの木は冬の間、枯れた葉を落とさないまま春を迎え、その枯れた葉は、春に芽吹く新芽を見届けてから落ちていきます。新芽にバトンを渡していくのです。

このスローガンには、そんなカシワの木のように、「柏のまちをしっかりと次の世代へつないでいく。変化を恐れず、力を合わせて前へ進めていこう」という思いが込められています。

今まで、柏市青少年相談員の皆様は、知恵と工夫を凝らしながら活動を「つづけ」、そして明るい未来に「つなげて」こられました。私ども柏市職員も、次代を担う子どもたちにバトンをつなげられるよう、皆様と一緒に頑張っまいりますので、引き続き、お力添えをよろしく願いいたします。

最後になりますが、今後も、青少年相談員の皆様の御活躍を期待いたしますとともに、柏市青少年健全育成連絡協議会の益々の御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

子どもたちの健やかな成長のために



柏市教育長

田牧 徹

柏市青少年相談員連絡協議会が創設 60 周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴会が発足した 1963 年は高度経済成長真っ只中の時でした。日本経済が飛躍的に拡大し、大人たちは朝から晩まで猛烈に働いていた時代です。また、その後、核家族化が急激に進展していた時期でもあります。このような中、柏市に青少年相談員が誕生しました。

日本経済の進展に伴い、地域のつながりが少しずつ薄れてきた中ではありますが、貴会はこの 60 年間、「地域における青少年の健全育成に資すること」をずっと守り続けてきました。皆様の活動があったからこそ、地域の教育力が保たれ、今のこの素晴らしい教育環境があると言っても過言ではありません。

さて、私が南部中の教員であった頃、当時の校長とともにオーバーナイトハイクに参加し、夜中 30km の道のりを歩きました。特に、河川敷の暗い道を歩いているときは、教員である私でさえ、心細い気持ちにもなりましたが、相談員の皆様が各所において、常に子どもたちに励ましの言葉をかけていただいたこと、また、その声がかかるたびに、子どもたちの表情が明るくなって、一体感が生まれてきたこと、などが思い出されます。

皆様には、オーバーナイトハイクが開催されるまで、また開催された後も含め、相当な期間において周到な準備や配慮をしていただいたことと思います。このこと自体が本当にありがたいことですが、子どもたちに様々な経験をさせ、成長につなげていくという皆様の意志や熱意の表れや結束力の強さがひしひしと感じられた一日でもありました。私自身、皆様のご尽力に対し、感謝の言葉もございません。

さて、新型コロナウイルスも、ようやく落ち着いてきました。また、新たに、皆様の熱意を示す時が来ています。

柏市の将来を担う子どもたちの健やかな成長のために、今後も、青少年相談員の皆様のご活躍と貴会の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

青少年相談員の原点 いつまでも



第18期柏市青少年相談員連絡協議会会長

中川 由利

柏市青少年相談員連絡協議会の創設60周年を心よりお祝い申し上げます。

18期、そのとき『子どもたちの健やかな成長を 地域で見守り 支え 50年』をキャッチフレーズとした50周年の記念事業の数々が鮮明に思い出されます。

学区活動、オーバーナイトハイク、わんぱく子ども祭りのほか、例年よりたくさんの子どもたちと触れ合う機会をと、『放課後子ども教室』や店舗スペースをお借りしてのイベント『あそびキャラバン IN イオンモール柏』など、先輩、後輩の相談員が入り混じってともに行えた周年事業でもありました。

その活動の中で出会う、子どもたちの無垢な笑顔、忙しい中、心から子どもたちのために活動へ参加する仲間たち、相談員っていいなと思う瞬間を多く共有できたのではと思っています。

また、多くの先輩にご協力をいただき、お話を聞く中で、「常に時代の流れに対応してきたから現在がある」「子どもたちの健やかな成長のために相談員活動がある」との想い、これまでの歩みを、残し、繋ぐことが半世紀の集大成であり、使命として18期相談員は周年の記念事業を終えることができました。

子どもたちを地域で見守り、支え、共に活動し、喜び、語りあう・・・その変わらぬ想いはこの10年「コロナ禍」という大きな障壁があったにも関わらず、絶えない歴史として紡がれて、無事60周年という節目を迎えることとなりました。多くの皆様のご協力はもちろんですが、時代に即した活動を心がけ、想いをつなぐ仲間たちの努力の賜物であり、相談員の活動が社会に広く必要とされていることを示していると考えております。

社会活動は頂点を高く目指すよりも、すそ野を広げていくことが大事であると言われる。地域では、あの方もこの方も相談員だったという話に花が咲き、オーバーナイトハイクに参加した中学生が相談員になっていたり、親子そろって相談員ですという声が聞こえたりと、理想的な形で相談員のすそ野は広がっていると感じます。

これからも着実な活動が、想いをつなげ、青少年健全育成のすそ野が広がり、より多くの子どもたちが健やかに育つ社会となることを祈って、この先の10年へ。

【50周年企画で「10年後の自分への手紙」400通ほどの未来をお預かり致しました。60周年の今年、皆様の元へお送り致します。素敵なお未来が皆様に届きますように！】

心と心をかさねつづけて・・・



第19期柏市青少年相談員連絡協議会会長

嶋田 雅彦

柏市青少年相談員、発足60周年おめでとうございます。私は現役の青少年相談員ですが、第19期会長としてメッセージを送らせていただきます。

私が生まれる10年前の昭和38年、初代会長・青木常雄様（柏市）、栗原勇様（沼南町）の心と心が未来に向けて歩き出しました。時には行く先が見えず、遠回りしながらも心と心をかさねつづけて60年、第21期・柏市青少年相談員の心とかさなつたことに感謝を申し上げ、この先も心と心がかさなりつづけることを願っています。

私は50周年の時に地元の先輩に頼まれ断れず青少年相談員になりましたが、10年後の自分に驚いています。この10年、卒業するのが嫌だと涙を流した人、今期で退任すると言い続け今も現役の人、活動は苦手だけど飲み会は得意な人、物静かで目立たないけど活動を支えてくれた人、青少年相談員とは心と心の出会いですね。最近ではSNSの発達により連絡、情報発信、会議等、便利になり負担も減りましたが、気づかないうちに思いやりにかけてしまうことがありますね。諸先輩方の時代、さすがに伝書バトはないと思いますが手紙や固定電話、FAXやポケベル等だったのかな。今思えば、不便な時代でも仲間会いたい、声が聞きたい、心と心をかさねつづけてきたから60年の歴史があるのかな。青少年相談員活動で陽のあたる場面は2割（事業）、残りの8割（準備）は人知れず陰の場面ですね。今後、文字の付き合いがますます増え、AIに意見を聞くこともあるでしょう。文明の利器と心と心をバランス良く、人肌を感じながら思いやりをもって活動できることを願っています。

10年後の青少年相談員の皆さん、私たちの心を重荷と感ぜず、今いる仲間と辿るべき道を歩んでください。もし70周年があるならば、私には何も相談しないでお客様として招待してくださいね。祝儀は持参します。

最後になりますが、柏市青少年相談員賛助会による「こども食堂」のように、街中が青少年健全育成に満ち溢れ、青少年相談員が制度として幕をおろす時、青少年相談員の目的達成だと私は思います。

第18期・中川由利会長には心労ばかりかけてしまい「ごめんなさい」。あなたのかさねた50年の心は、60年の心となり未来に向けて歩き出しました。

地域を見守り続けて



柏市青少年相談員賛助会会長

大瀬 宏美

柏市青少年相談員連絡協議会が創設 60 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私は、12 期から 15 期と青少年相談員活動に携わってきました。大切な仲間との出会い、多くの子どもたちとの体験活動や学びがありました。雷雨のオーバーナイトハイク、東葛地区の集い大会にミッキーマウスたちが応援に来てくれたことなど、どれも忘れられない思い出です。そして、沼南町との合併後に始めたわんぱくこども祭りも思い出深いものです。

15 期退任後、青少年相談員として活動をしていた時に学んだ数々のスキルを地域の子どもたちの為に活用していきたいという思いが集結し、当時の執行部役員中心で「柏市青少年相談員賛助会」を立ち上げました。現役の青少年相談員連絡協議会の活動の支援と市民公益活動の推進を目的としました。以来、オーバーナイトハイクのサポートやわんぱくこども祭り、現役青少年相談員の研修のサポートなどに携わらせていただいています。また、市民公益活動の一端として、現在は毎月 1 回、『子ども食堂キャラバン隊』として子ども食堂を開催しています。ここでは、子どもたちと共に食事をしたり、学習支援をしたり、ワークショップを開催したりして、子どもたちの居場所作りの一助を担っています。この数年は、コロナ禍の開催となりましたので、フードパントリー（食材の無料提供）を通して子どもたちの見守り活動をしてきました。今夏より、子どもたちとの食事も再開し、多くの子どもたちと楽しい時間を過ごしています。

青少年相談員の先輩が、『あの人が元気になる。あの人に会うとこっちも元気になるな。と、子どもたちに思われるような振舞い・行動ができる人を輝いているというのです。』と、話されていました。賛助会メンバーは、『自分たちが出来る事をできる時間を使って、ボランティア活動に参加していこう』と、いう気持ちで続けています。そして、輝いている大人でありたいと願い、これからも活動していきます。共に、活動を推進していけるメンバーが次々と続き、地域の見守りの目が増えていくことを期待しています。

最後になりましたが、柏市青少年相談員連絡協議会が 60 周年を機にさらにご発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

柏市青少年相談員連絡協議会

60th
Anniversary



60年のあゆみ

青少年の健やかな成長を見守り

支える大人として、

千葉県および柏市から委嘱されたボランティアが

青少年相談員です



60年のあゆみ



青少年相談員は、青少年の健全育成を担う組織の必要性や、地域ぐるみで青少年を健全に育てることの重要性が増す中、知事及び柏市長から委嘱され昭和38年10月に発足しました。

地域社会における青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、青少年相談員には、共に喜び、共に語り共に行動し、青少年のよき理解者、よき相談相手となることが求められています。

青少年スポーツ活動の振興、ボランティア活動等社会参加活動の推進、社会環境の浄化と育成環境の整備等、幅広い青少年健全育成活動を行っています。
(21期千葉県青少年相談員手帳より抜粋)

～年表① 発足から50周年まで～

	相談員のできごと	世の中のできごと	会長 (柏市)	会長 (沼南町)
昭和38年～	1期 青少年相談員発足 柏35名、沼南14名でスタート 委嘱年齢25～35歳	東京 オリンピック 開催	青木常雄	栗原勇
昭和40年～	2期		渡部豊夫	伊原一男
昭和43年～	3期 柏120名 沼南17名へ		渡部豊夫	湯浅武
昭和46年～	4期 10周年	札幌オリンピック開催	渡部豊夫	渡来忠雄
昭和49年～	5期		渡部豊夫	相馬義昭
昭和52年～	6期		渡部豊夫	吉田恵次
昭和55年～	7期	山口百恵引退	大山六男	吉田恵次
昭和58年～	8期 夏のつどいはじまる	ロスオリンピック開催	増田一仁	吉田恵次
昭和61年～	9期 中学校区が16学区に 委嘱年齢が45歳以下に	ハレー彗星接近 チェルノブイリ原発事故	芝原達	吉田恵次
平成元年～	10期	平成改元	小林修	橋本茂
平成4年～	11期		天海てる子	橋本茂
平成5年	30周年 広報紙を「すくらむ」に改称		阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	天海てる子
平成7年～	12期	長野オリンピック開催	鈴木諒	勝矢一久
平成10年～	13期	公立学校 完全週休2日制開始	大瀬宏美	米野井正和
平成13年～	14期 40周年 柏147名 沼南33名	柏市沼南町 合併	大瀬宏美	
平成16年～	15期 合併により中学校区20学区 相談員180名体制に 夏のつどい部が発足 わんぱく子ども祭り始まる			
平成19年～	16期	柏市制50周年	青木英人	
平成21年～	17期 行事への安全対策強化へ	東日本大震災	西堀雄一	

～年表② この10年～

平成 25 年 18 期 50 周年

50 周年記念事業

キャッチフレーズ：
「子どもたちの健やかな成長を 地域で見守り 支え 50 年」

50 周年記念式典 アミュゼ柏 平成 25 年 10 月 6 日（日）
基調講演 松本零士氏
「体験することを通して広がる 子どもたちの夢・未来」

50 周年記念行事 あそびキャラバン IN イオンモール柏



平成 28 年 19 期 オーバーナイトハイク荒天で初の中止
わんぱくこども祭り入場者 1,000 人越え

平成 31 年 (令和元年) 20 期 年齢制限 53 歳以下へ
柏の葉中学区新設により、柏市内 21 中学校区に



令和 2 年 コロナ禍により活動が制限される中、
連協行事が中止



令和 3 年 代替事業として「謎解きウォークラリー」と
「おうちでわんぱくこども祭り」を企画

令和 4 年 21 期 179 名委嘱 年齢制限 55 歳以下へ



令和 5 年 9 月末 柏市青少年センター閉館

60 周年記念事業

キャッチフレーズ：「子どもたちとともに 60 年の想いをつなぐ」

60 周年記念式典 アミュゼ柏 令和 5 年 11 月 11 日（土）
基調講演 文教大学准教授 青山鉄兵氏 「こどもの体験にどう関わるか」

50 周年記念行事「10 年後の自分への手紙」当時お預かりしたお手紙を今年発送予定

千葉県 60 周年記念事業

日時：令和 5 年 8 月 21 日（日曜日）
会場：千葉市青葉の森公園芸術文化ホール
内容：知事祝辞、特別功労賞及び感謝状贈呈
事例発表（印旛地区・安房地区・君津地区）
記念事業報告



※柏の分は写真中央下段の緑



60 周年記念事業 <万羽鶴>

子どもたちの想いや夢、願いをこめて折られた鶴を、
“地域の大人”である青少年相談員が
一羽ずつ糸を通して子ども達の想いをつなげると共に、
私たちの活動意欲向上にもつなげていきます。
（千葉県青少年相談員 記念事業趣意書より抜粋）



柏市内では、小学校の協力を得て 1 万 2 千羽が集まりました！
みんなの願いが大きく羽ばたきますように！

9 月、イオンモール柏に「折り鶴キャラバン」として展示

柏市青少年相談員連絡協議会

60th
Anniversary



連協事業[※]

今、私達は地域の大人としての活動を通し、
子どもたちに何が出来るか？

そのためには大人自身が楽しんで関わり
そして子どもたちに寄り添い
「やればできる!」という感動を与えられる体験活動が
健やかな成長の糧になるものと思っております

新しい時代に相応しい体験活動を
連協全体で提供して参りましょう

※ 連協とは
柏市青少年相談員連絡協議会です

青少年夏のつどい オーバーナイトハイク



オーバーナイトハイクとは、参加生徒と青少年相談員及び地域の協力者が、力を合わせ「柏市内をめぐる約30キロのコース」を夜間に歩くイベントです。夜20時以降に「柏駅」をスタート、寝静まった街を語り合いながら歩き、翌朝までにゴールの「柏中学校」を目指します。



== オーバーナイトハイクのはじまり ==

1984年、中学生対象の企画を立ち上げたいとの思いで第一回企画が立ち上がりました。企画当初は、行政からは「青少年を夜間に外出させるとはけしからん！」と、なかなか許可が下りなかったのですが、何度も説明をし、熱意を伝え、開催にこぎつけました。

携帯電話がなかったころでしたので、コース上の公衆電話や無線機を使いながらの歩行だったそうです。



かつての休憩所は、お寺や神社の境内など！局所雷雨で歩行が止まったり、土手にマムシ出現で急遽コース変更なども。先輩方は幾多のアクシデントや困難を乗り越え、その後は参加者が増え、千葉県下のボランティアが開催する行事としては、最大人数となっていき、広く周知されるようになりました。



東日本大震災の年には、安全を考慮し一時は中止も考えられたそうですが、こどもの体験を止めてはいけないと、更なる安全対策の上で開催としたそうです。

39回の長きにわたる企画は、まさに青少年相談員たちの汗と涙で続けてこられました。

== 持ち場を守って ==

事故や怪我なく安全に本番を遂行するため、
青少年相談員と協力者全体で様々な角度から企画を支えています



同行

歩行者の体調やペース管理
安全に歩行できるようサポートします
感動を分かちながらゴールを目指す！



休憩所

スタート・ゴールの運営と
3か所の休憩所での歩行者のケア
疲れた歩行者を拍手で迎え、
笑顔で送り出します！



救護・本部救護

要救護者のピックアップ
運ばれてきた歩行者のケアと管理と
その統括を担当します



バイク隊

コース上での警備誘導や声掛け
隊列のペース調整なども



本部

全参加者の人数や隊列のペース管理、各部署との連携など、
全体を安全に円滑に運営できるよう管理しています



== この10年 ==

- 2015 30回記念大会記念イベントで、コースを大きく柏の葉キャンパス方面へ
- 29, 30, 31回のタオルデザインは「岳」「BLUE GIANT」の作者 石塚真一氏
- 2017 33回は、天候の急転のためスタート直前で初の中止
オリジナルの完歩パン作成
- 2020 コロナ禍により36~38回まで中止
- 2023 第39回オーバーナイトハイキング！4年ぶりに無事開催！



踏み出す一歩が、そして背中を押す手が、ゴールへ導く。
中学生の夏の思い出や達成感の一助になるよう、
子どもたちの一歩を支えられる相談員であり続けられるよう、
40年続いてきたイベントの歴史を噛みしめながら、
今後も力を尽くし誠意をもって、進み続けます。

~つなぐ~

わんぱくこども祭り



「わんぱくこども祭り」って、どんなイベント？

柏市内の小学生を対象として、日頃経験できないような工作、遊び、スポーツなど、屋内・屋外問わず、さまざまな体験を提供するのが「わんぱくこども祭り」です。

一つでも多くの体験を通して楽しい思い出をお持ち帰りいただけるよう、相談員や各団体が心を一つにして開催しています。

来場した子どもたちからは、「面白かったから来年もまた来たい」「とても楽しくできたし、学べました」保護者からは、「子どもだけでなく、親も一緒に参加できて楽しかった」というお声を頂いています。

10年の歩み

- 18-19期 (2013~2018)
わんぱくこども祭り開催 (第7~12回)
※2016年で10回目を迎え、2日間の開催で来場者数約1500名
- 20期 (2019~2021)
2019 わんぱくこども祭り開催 (第13回) ※1日開催に変更。来場者数約1500名
2020 新型コロナウイルスのため活動休止
2021 おうちでわんぱくこども祭り (第14回) ※市内小学校家庭数配布
- 21期 (2022~)
2022 おうちでわんぱくこども祭り冊子配布
わんぱくこども祭り“プチ”開催 (第15回) ※来場者数約100名
2023 手賀の丘ミニフェスタと合同開催予定

18期前半からあった伝統のブース



18期後半～20期のブース

18期	ターザンロープ	ツリーハウス	割りばし鉄砲作り
	記録に挑戦	缶バッチ作り	スカイシャトル ブーメラン
19期	かさ袋ロケット	くるくるレインボー	巨大迷路
	スクイズ	ひっくり返し競争	ポツチャに挑戦
20期			

協力団体

市立柏高校ダンス部
「BISCO」



市立柏高校図書委員
折り紙 読み聞かせの会



十余二消防団
車両誘導



柏市文化課
勾玉作り・貝殻アクセサリーづくり



動物愛護
ふれあいセンター



賛助会
射的など



60周年を迎え、進化していく「わんぱくこども祭り」

令和2～3年度は新型コロナウイルスにより開催を見送っていましたが、令和4年度には規模を縮小して再開しました。限られたブース数での開催でしたが、お祭りを経験したことのない相談員に、子どもたちと触れ合うことの喜びや楽しさを感じてもらえました。

令和5年度以降については、場所を変更しての開催になります。コロナ状況下でのノウハウ継承や場所・形式変更などの課題を抱えている中ですが、これまで以上に子どもたちに楽しんでもらえるよう今後ともお力添え頂きますようお願い申し上げます。21期部長押久保

～つなぐ～

東葛飾地区活動

== 丸ごと地域で見守る ==

東葛飾地区連協とは、柏を含めた、松戸、流山、我孫子、野田、鎌ヶ谷の6市の青少年相談員の協議会です。毎年、課題研修会や情報共有の会議の場などを通して地区全体の資質向上に努めています。

その6市が年に一度子どもたちを集めて開催するイベントが、「東葛飾地区少年の日・地域のつどい大会」です。

6市が輪番でホスト市を担当し、流山のヘルスバレー、我孫子の綱引き、鎌ヶ谷のタグラグビーなど、その市の特色を活かしたイベントとなっています。

平成29年11月 つどい大会 柏市開催

この年は柏が当番となり、柏の葉公園周辺の施設及び体育館で開催しました。

午前中は、千葉県警察第三機動部隊での訓練や特殊車両の見学を。普段見慣れない光景に大興奮。

お弁当の時間を挟んで、午後は柏市発祥のスポーツ「ふわどっち」。大人も子どもも大ハッスル。

100人の東葛地区の小学生。最初はぎこちない挨拶から始まりましたが、時間が経つにつれすっかり仲良しに。楽しい時間を過ごしました。



令和6年は、柏市で開催される予定です。近隣各市の子どもたちの笑顔がたくさん見ることができるよう、工夫を凝らし楽しい会になるよう、今から準備してまいります！

つなぐ

専門部活動

「研修」「広報」「夏のつどい」「こどものつどい」

4つの専門部会は
自己研鑽を重ねつつ、
充実した体験活動の提供、
内外への周知奮起へと、
各部一丸となり取り組んでいます

研修部



研修部は、主に相談員内部向けに、魅力的な活動を推進向上できるよう、相談員の啓発に有益な研修の実施に関する部門を担当しています。

スポーツ指導、レクリエーションの普及、講習会、レクリエーション等の知識や技術などを向上させるとともに、相談員自身の心構えや役割を確認しながら、ニーズや社会の動向を探りつつ、安全管理やコミュニケーションスキルを身に付けられるよう、企画運営をしています。

== AED 講習会 ==

毎期、委嘱の年度初めに、AED 講習会を行っています。
オーバーナイトハイクをはじめ、多くの子どもたちと関わる行事に携わるものとしての必要な知識と体験を得るためです。

講習会では、柏市消防署の方々の指導のもと、
倒れた方への声掛けからの心臓マッサージ含む心肺蘇生を習います。

「命のバトンの第一走者」と言われる心肺蘇生を、躊躇なく行えるよう、常に気持ちを引き締め
てまいりたいと思います。
社会にどれだけ AED が設置されているかなども、これから気を付けたいポイントですね。



== 柏市民かるた大会 ==

例年1月に行われる柏市新春かるた大会は、柏ユネスコ協会、柏かるた会との共催で行われる競技会です。青少年相談員は、昭和52年の第4回大会から参加し、歌の読み手への声掛け、札取りの審判、集計などのサポートを担当しています。
毎回、子どもたちの、楽しいだけでなく鋭さや真剣さに驚きます。



== 全体研修会 ==

思考や感性をめぐらす研修、体を動かして汗をかく研修、
この場で多様なスキルを身につけて、学区や各種活動に活かしていきます。



息を合わせてフィリングネットバレー



おなじみヘルスパレー



思わず熱が入ります！



コミュニケーション講座



審判研修



講演会「相談員に期待すること」

== ニュースポーツ体験会 ==

研修部では、多くの人に体験を提供できるよう、各種ニュースポーツ備品を管理しています。
年齢や身体能力に関係なく、だれでも楽しめるのがこれらの競技のいいところです。
これからもニュースポーツの裾野が広がるように推進していきます。

モルツク

並べたスキットルに
木の棒を投げて、
倒れた数字を加点、
50点を目指す競技



ボツチャ

基本の
白いボールに
赤青のボールを
あてて
いかに近づけるか競う



ラダーゲッター

ヒモでつながっている
2個のボールを
ラダーに向かって投げ、
ボールがラダーに
引っ掛かると得点となる



クツブ

木の棒を
投げ合って
木の的を倒す
2チーム対抗の
的当てゲーム



これからの研修部

全体の資質向上と学区活動などに役に経つ活動を進めてくなかで、
青少年のよき理解者となれるよう、そして自分たちも高めていけるように、
研修部員をはじめ相談員全員で楽しく活動を行っていきます。よろしくお願ひ致します！

～つなぐ～

広報部



広報部は、「すくらむ」発行やHPの更新を通じて、青少年相談員とは何か、どのような活動を行っているのかを、子どもたち、保護者、学校、地域社会、そして相談員自身に、子どもたちを見守り育てていく意義や役割を伝えてまいりました。

子どもたちの笑顔を、それを支える相談員の姿を、どうしたらより良くPRできるか、いつも考えながらの活動です。



== 広報誌 すくらむ ==

広報誌「すくらむ」は1993年（11期）に創刊され、その後、2005年（15期）に旧沼南町「青少年だより」と合併し、それ以降、A4判の4ページ構成としていました。

この15年ほどは、委嘱の年の初号は、全員の顔写真を載せて、円滑な活動の助けになるように、内外への周知を図る工夫をしています。



18期は、専門部学区活動とも充実の活動内容で、紙面や記事に、工夫が凝らされていきます。その後、より多くの方に目に留まるよう、19期の80号以降は、印刷コストを抑えたいうで、カラー版を発行しました。

現在は、発行部数33,000部、「オーバーナイトハイク」「わんぱくこども祭り」を中心記事とし、「研修活動」「学区活動」「相談員紹介」を加えて、年2〜3回ペースで発行しています。手紙や文書のデジタル配信も増えてきましたが、やはり紙面での配布は大事にしていきたいと思います。



創刊のころの沼南町の青少年だより



柏沼南合併後のすくらむ



最近のすくらむフルカラーで制作しています

== すくらむができるまで ==

企画

発行時期の連協事業や各学区の活動について検討、記事を考えます

取材

活動中は、大人も子どもも、一生懸命だったり夢中だったり一緒に活動しながらも、表情が分かる写真を撮ることを大事にします

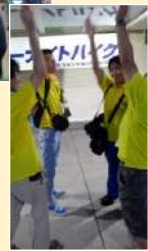


記事作成

その場の思いや感動が伝わるような記事を書き、写真を選びます

編集

「見たい」と思わせるような魅力的な紙面を考えます
最近では誰でも使えるソフトが普及してきたとはいえ、工夫が必要ですね



入稿印刷

最近ではデータ入稿のネット印刷が一般的になってきました

配布

各小中学校はもちろん、近隣センターや公共機関に配架されます
たくさんの人の目に触れることを願って

== ホームページ・相談員名鑑 ==

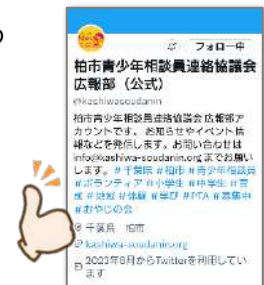
2011年より運用しているHPには

「すくらむ」紙面の都合で掲載できなかった活動の詳細、たくさんの子どもの素敵な笑顔や、楽しそうに汗かく相談員の様子を掲載しています。

コンテンツを整理し、見やすい画面を検討しながら、最新の情報を届けられるようタイムリーな更新を目指しています。

SNSによる周知宣伝活動も始めました。

多くの皆さんの目に触れる機会が増えることを期待します！



多種多様な相談員。初対面で何を話していいかわからない……。きっかけが見当たらず話しかけられないまま、3年間を過ごした相談員が多いという意見から、顔写真と出身地や趣味、特技などを記した相談員自己紹介の場である「相談員名鑑」を発刊しました。

部や学区を超えた活動の際にとっても役に立ち、円滑なコミュニケーションの一助になっています。

これからの広報部



これから先、メディアの形は変わっていくかもしれませんが、日々活動する相談員や子どもたちのほじけるような笑顔を伝えていく大切さは、いつになっても変わることはありません。広報部は、そんな大事だけどすぐに過ぎ去ってしまう子どもたちの笑顔と相談員活動を広く伝え、記録に残していきます。

~つなぐ~

夏のつどい部



柏市内の中学生を対象に、主にオーバーナイトハイクを企画運営する夏のつどい部は、全学区の相談員が属する50人近くの大所帯です。

「夜の柏の街を仲間と30キロ歩く」という、いつもの生活ではなかなか巡り合えない体験活動のため、安心安全を第一に細心の注意を払い、時に激しく意見を交わしながら、皆で心を一つに活動を進めています。

部会・準備

本番に向けて協議を重ねます。時間もかかり伝達事項も多いですが、安心安全かつ楽しい体験への想いはひとつ！



全体説明会

相談員と協力者が集まって、大会の趣旨、コース、行程の説明、役割分担、安全対策、参加者への注意事項など、無事に本番を迎えるための詳細について、全体で確認し合います。



下見

安心安全の為、何度も下見を行います。コース、危険な場所など様々な検証・確認をします。同行はもちろん、各部署の運営の練習でもあります。



学区説明会

参加者の生徒たちに持ち物や注意点の説明会を行います。



ポスティング

地域の方へ理解いただくため事前にお手紙を配布しています。



事前あいさつ

警察署、消防署、休憩所となる学校など、多くの関係機関の協力で成り立っています。



草刈り

歩行の邪魔にならないよう事前に丁寧に草刈りをします

これからの夏のつどい部

近年、雨天中止や感染症はもちろん、猛暑への対応などや社会状況も含め、イベントの運営が難しい面も出てきていますが、子どもたちのそばで体験に寄り添え、なによりわたしたち自身も一緒に成長できるこの活動を大事に、これからも考えていきたいと思っています。

つなぐ

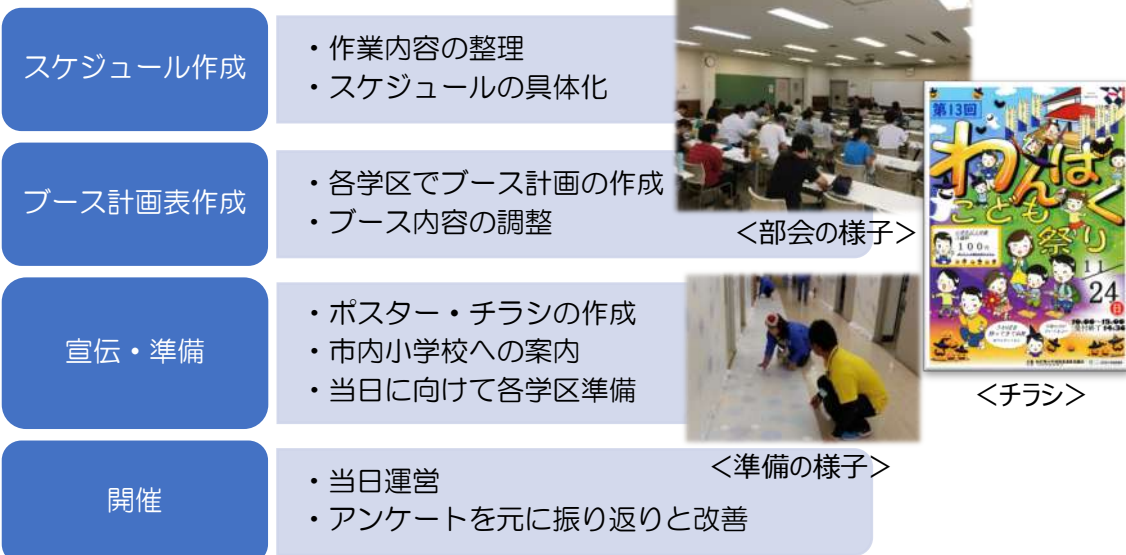
こどものつどい部



「こどものつどい部」は、主に「わんぱくこども祭り」の企画・運営を担当しています。19期に、「春のつどい部」から現在の部会名に改称しました。

毎月の部会を通して、年間のスケジュールや各学区のブース内容を決定。また、小学校へ宣伝するためのチラシや当日のプログラムなどを作成し、来場者・相談員が安心して参加できるように計画的に準備を進めています。毎年、振り返りの上、より安全に楽しく子どもたちが様々な体験ができるよう、部員一丸となって協力・工夫しながら活動しています。

年間の活動の流れ



歴代部長コメント

18期は、大雪で中止になったり、会場が毎年変わったりと大変でしたが、多くの子どもたちの笑顔に出会え、長い期間の苦勞が吹き飛び、充実感に満ち溢れました。



18期 奥山

メンバーに支えてられて、20以上の体験を用意でき、入場者数も増加しました。

子どもたちには「たくさんの思い出と経験を」相談員は「子どもたちの笑顔の数だけパワーを」もらうことができました。

19期 板津

これからのこどものつどい部

60周年となる令和5年度は、さまざまな環境の変化の中、新しいわんぱくこども祭りの準備を進めています。時代や環境とともに形は変わっていくかもしれませんが、子どもたちのために一つでも多くの思い出や体験を作り続けられるよう、これからも相談員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



柏市青少年相談員連絡協議会

60th
Anniversary



コロナ禍の相談員活動

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大で
世界中が当たり前にしてきた事が
全く違ったものになりました

しかし、私達は同時に
変化に対する「新しい力」も身につけてきました
考え方や行動は
心がけ次第で、変えることができます

こごえるつぼみにも、まばゆい光の季節がやってきます

自分の手で、自分の夢に向かってまっすぐ歩いていくために
青少年相談員は
力と知恵を惜しみませんでした

～体験の場を止めないために～

距離はとっても心は離れず！



年号が令和に変わって新たな時代が進むかと思いきや、新型コロナウイルス感染拡大に、世界中が一変しました。

日本でも緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が千葉県を含む地域に発出されました。

これにより、不要不急の外出、移動の自粛や飲食店の営業時間の短縮などが要求され、このまま何もできないかと心配しましたが、それでも、わたしたちにもできることがある！と、慎重に前向きに、協議検討を重ねました。

連協

- ・総会は、集合形式をやめ書面決議
- ・会議は極力集合を避け、ウェブカメラやスピーカーを準備オンラインを駆使
- ・国や県の情報を確認しながら適切に行動
- ・相談員それぞれの事情を尊重し、無理強いはいしない



学区 「わたしたちにもできることがある」

学区会も距離をとって



席を離して映画鑑賞会



距離！消毒！ いろいろ工夫をしました！

ゆったりウォーキング



広場でラジオ体操



広報部 応援号を発行！

活動は制限されるものの、沈みがちなこんなときこそ内外への周知や奮起を怠ることのないよう、今までの振り返りと今後の計画をこめて、「上を向いて歩こう」と題した広報紙を発行！仲間を勇気づけました！



研修部 距離をとりながらできる、ニュースポーツ体験会を実施

競技ごとに、QRコードで遊び方の動画に飛べるよう整理をしました



本当に大変な期間でしたが、メンバーで一生懸命対応したこの時期を忘れません！
今後体験の学びをとめることのないよう、常にフレキシブルな体制と柔軟な考え方をもって、これからも力を尽くしてまいります。

～つなぐ～

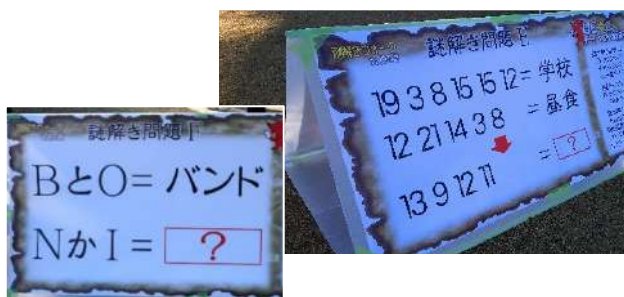


新型コロナウイルスの感染拡大により、オーバーナイトハイクをはじめ全てのイベントが中止に。そんな中、こんな状況だからこそ我々相談員が子どもたちに手を差し伸べる事は出来ないのか??という強い思いで、令和3年11月に、夏のつどい部を中心として、安心安全を第一に三密を避ける形で千葉県立柏の葉公園に全面的協力をいただき、謎解きイベントを企画しました。

企画から謎解き問題まで、イチから作り上げたすべて相談員オリジナル！公園内各所に設置されたブースで謎解きとアトラクションにチャレンジしながら、最終ゴールの謎を解いてお腹をすかせたチーバくんを救うというテーマのもと、スポーツ体験をしながら地図を片手に公園内を探求する子どもたちも一生懸命！



謎解きの一例



ムムム、難しい！！わかるかな？



初めて尽くしの新規イベントで企画運営と感染症対策の両立など、多々困難や苦労もありましたが、400名を超える子どもたちの笑顔に出会えたことや、今もなお「今年は柏の葉でのイベントは開催されますか？」とのお問い合わせがある状況をかんがみると、皆さんの心に残るイベントが開催出来たことに、感無量でした。

20期 夏のつどい部部長 高橋 裕馬



わんぱく こども祭り

おうちで



令和2年からの2年間は、新型コロナウイルスの感染リスク低減と活動のバランスを取ることが最優先課題で、なかなか思うように活動ができませんでした。中でも、こどものつどい部の中から「子どもたちのために何かできることはないか？」という相談員の想いが起こりました。

どうすれば子どもたちに楽しんでもらえるかと考え、『冊子でお届け』という形態にたどり着きました。

部会は、非集合としたラインを使用した形で運営し、データ共有サイトを駆使、時代に即した活動として『おうちでわんぱくこども祭り』という冊子を作成し、市内小学校の各家庭に配布、家族やお友達で楽しんでいただくことができました。

内容は、わんぱくこども祭りで好評だった工作や料理、体験、学区でオリジナルの、やってみたい項目のQRコードを読むと、動画に飛ぶような仕掛けにしました。

多様な人材が集まる相談員だからこそ、このようなデジタルとアナログを融合した新時代に合わせた活動ができたのだと思います。

メンバーや関係者の皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。(20期こどものつどい部部長 川島吉章)



<掲載内容の一部>

- 牛乳パックコマ
- バルーンアート
- 地球グミ



令和4年12月 わんぱくこども祭り【プチ】

縮小規模ではありましたが、社会状況をみながら、3年ぶりに集合形態でのわんぱくこども祭りを開催しました。

久しぶりに直接見る子どもたちの笑顔がまぶしかったです。

どんな形であっても、子どもたちを笑顔に、元気にさせるお手伝いを、これからも続けていきたいと思っております。

(21期こどものつどい部部長 押久保 美濃里)



学区活動

青少年相談員の活動の柱の一つに

中学校区単位で行う「学区活動」があります

各学区でノウハウを結集し創意工夫を凝らし

時には地域の方々と協力をしながら

さまざまなイベントを行っています

地域で青少年を見守り支える大人として

ともに取り組み、楽しみ、語り合う

子どもたちとの大切なふれあいの場となっています

田中中学区

西原中学区

柏第五中学区

柏第三中学区

豊四季中学区

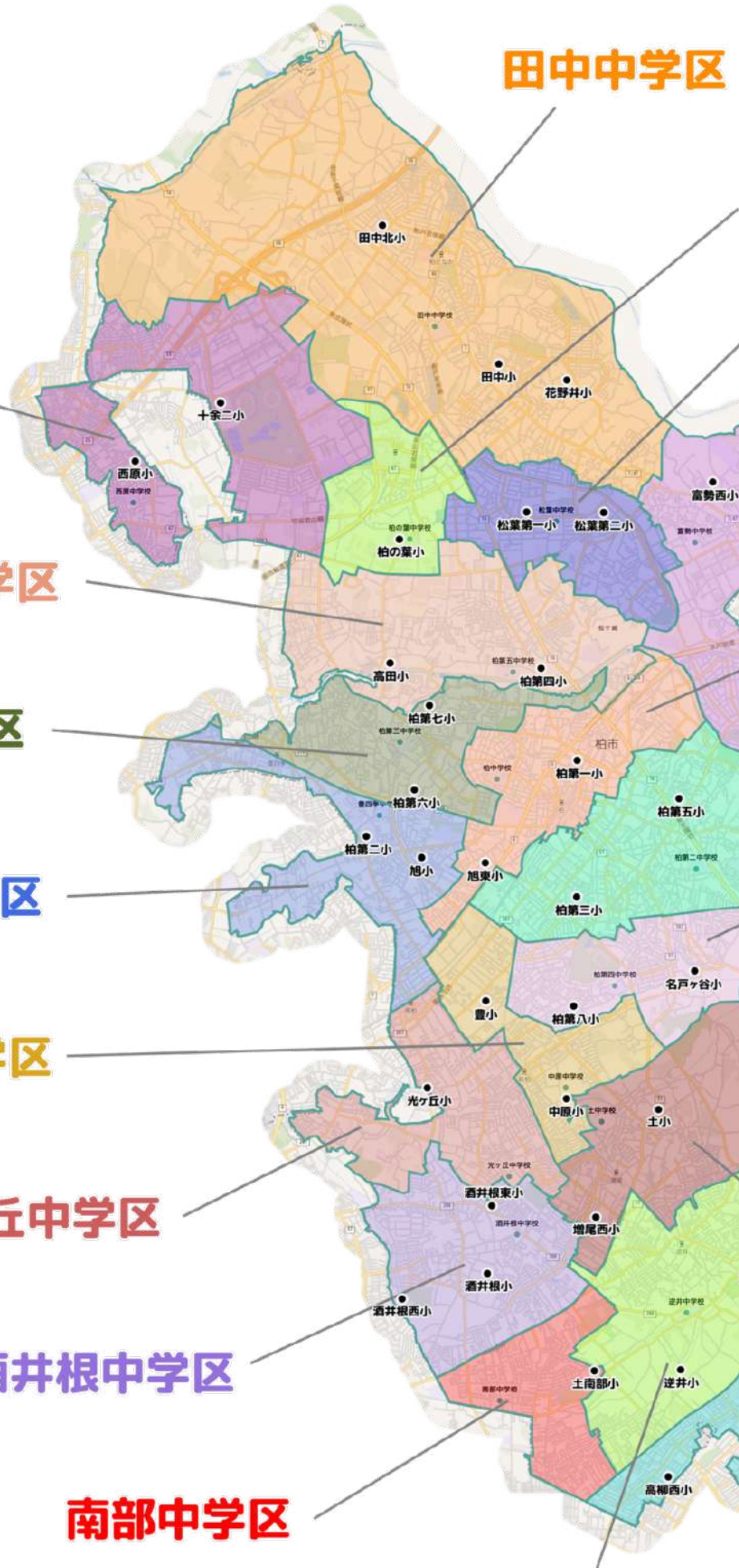
中原中学区

光ヶ丘中学区

酒井根中学区

南部中学区

逆井中学区



柏の葉中学区

松葉中学区

富勢中学区

柏中学区

柏第二中学区

柏第四中学区

大津ヶ丘中学区

手賀中学区

風早中学区

土中学区

高柳中学区



令和5年度現在イメージ図

柏 中 学 区

みんなでよく遊ぼう
よく学ぼう！

柏中学区は、2022 は、夏に水鉄砲イベント、冬にケーキ作り体験を予定しました。

【 ケーキ作り体験 】

樹杏の古田社長を講師にお迎えしてケーキ作り体験を開催しました。

小学校低学年にもわかりやすく、ユーモアも加えながらわかりやすく実演していただき、子供たちも目を輝かせながら古田社長の説明に耳を傾けていました。



実演が終わり次第、全員でケーキを作りはじめました。

みんな思い思いのトッピングを飾り付けて、ワイワイ楽しく作りました。

後半にはその場で焼いたスポンジを皆で食べたり、余ったチョコレートクリームを奪い合いながら舐めたりして楽しみました。

最後にはきれいな台紙や箱、手提げ袋に入れてお土産として持ち帰りました。



【 5on5 ウォーターシュート 】

小学生向けに水鉄砲イベントを企画しました。試合形式としてルールを決めてトーナメントとし、募集をかけていましたが、残念ながら、新型コロナ感染症の影響により、中止としました。次回は開催したいです。

☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆
こちらは、令和元年に行った、ANA 機体工場見学の様子です。



普段見ることの出来ない格納庫では機体やエンジンを間近で見たり。大人も子どもも、夢中になりました。

手賀の丘

少年自然の家で
野外活動なども
ありました



グループごとの旗づくりや、ウォークラリー。食事はみんなでカレーを作り、夜はナイトハイクで大冒険！
楽しい時間でした。

☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆
これからも、沢山の笑顔が見られるようがんばっていきます。



柏第二中学区

あんだ、そこに「二中」
はあるんか？

三小、五小、二中の3校からなる学区です。学区内に柏駅東口（や「いこい」）があり、住宅地が多いため生徒数が多い地域です。



老若男女の相談員をあわせもち、若い行動力と老獪な？視点を融合させた、活気ある学区活動を行ってきた二中学区。バスツアー、デイキャンプ、学校お泊まり会、ポイントラリーなど、子供たちと一緒に（それ以上？）に楽しんでできました！

18期（2013年～2016年）



バスツアー

19期（2016年～2019年）

今はなき、青少年センターキャンプ場の屋根が、時代の変遷を感じさせますね



デイキャンプ

20期（2019年～2022年）

1年目は学校お泊まり会やデイキャンプなどを実施しました。コロナ禍で2年目からほとんど活動ができませんでした。五小オヤジの会と連携してオリエンテーリングなどを行いました。



学校お泊まり会

夜の校舎の肝試し、校庭での
星空観察など盛りだくさん！

21期（2022年～2025年）

ようやく活動できるようになり、ふるさと公園でニュースポーツを競い合うポイントラリーや五小まつり、五小オヤジの会と連携した映写会などを行いました。



ポイントラリー

土 中 学 区

魂を燃やせ！！土中学区

魂を燃やせ！！土中学区

小・中学校ともに比較的のんびりとしていて子どもたちも健やかです。
地域のつながりを重視し、幅広い世代で地元を大切にしている環境があります。

私たち土中学区は、土中学校を中心に土小学校と増尾西小学校の子どもたちを対象に活動しています。21期では「魂を燃やせ！！土中学区」をスローガンに、メンバー一人ひとりが子どもたちと一緒に好奇心・冒険心をもって行事に取り組み、楽しみながら地域を盛り上げる活動をしています。行事も低学年から高学年へ、小学校から中学校へとつながりを持たせることを意識しています。

手賀沼ウォーク

春に3・4年生が9 km、秋に5・6年生が15 km手賀沼のほとりを歩きます。スタートからゴールまでの間、体験することのない距離を歩くので「疲れた、歩けない」と言いますが、力強く歩きます。友だちとの会話や休憩時間に見せる笑顔はとても印象的です。



学校に泊まろう！

夏休みに学校を借りて児童が地域のかたたちとの交流を持ちながら学校にお泊りをします。防災体験や座禅体験、増尾の歴史勉強など盛りだくさんです。勉強する学校で泊まるという貴重な体験ができる人気の行事です。

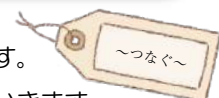


ドッジボールと流しそうめん

秋に学校の体育館でいくつかのチームに分かれて、ドッジボール大会をやります。試合中も熱が入りますが、休憩中の流しそうめんも同じです。自然の竹で作った手作りのそうめん台に子どもたちが集まり、いち早く取ろうと必死になっています。



土中学区は様々な行事を通してたくさんのお子と出会い、元氣をもらっています。これからも行事を通じて、子どもも大人も楽しみ、成長できる学区活動をおこなっていきます。



富勢中学区

①もだち沢山
②みんなで楽しく
③せかいへ翔け

ロケーション

柏市北東部に位置し、近くには利根川や田園風景が広がる自然豊かな地域です。

関東三弁天の一つでもある『布施弁天』、チューリップフェスティバルやさくら祭りでも有名な『あけぼの山農業公園』を学区内に有し、県内外から多くの観光客が集まる人気のスポットとして知られています。



青少年相談員

第21期は富勢中学校、富勢小学校、富勢東小学校、富勢西小学校の4校から選出された総勢10名の青少年相談員が、元気に明るく学区活動や連協活動、地域イベントへ積極的に参加しています。

ボウリング大会

富勢中学区の例年行事として、富勢小学校、富勢東小学校、富勢西小学校の児童を対象にボウリング大会を開催しています。

同じ中学校に進学する以前から小学校の枠を越えた交流イベントを開催する事で、お互いが仲良くなれる機会を創出しています。



八朔相撲

富勢地域の歴史あるイベントとして『八朔相撲』があります。

八朔相撲は享保9年(1724年)に、五穀豊穡を祈願して布施弁天の境内で始められたのが起源と言われている。

現在は富勢小学校、富勢東小学校、富勢西小学校の3校の小学校から男女多数の参加者が集まり、児童が相撲で力比べをして、地域の300年に渡る歴史を今も紡いでいます。

我々青少年相談員も、富勢地域ふるさと協議会や各校PTAなどと協力して、歴史あるイベントの一助を担っています。



今後も、子どもたちに実りある体験をさせてあげたいと思います！



**たのしく
なかよく
かんだう体験**

ホタル観賞会

田中中学区では毎年7月に花野井小学校でホタル観賞会を行っています。

花野井小学校には、湧き水があり、ビオトープが整備されています。そこへホタルを放ち、みんなで鑑賞します。



夜に集まる楽しさ、友達や家族と仲良く過ごしながら、光るホタル観賞するというのは、素晴らしい感動体験です。

当日は、明るいうちから田中中学区4校の親子が集まり、ホタルが光りだすのを待っていました。暗くなるのに合わせて、1匹、また1匹と光りだし、「あ！光ってる！」「ここにも！」「どこ？どこ？」と参加者の声が飛び交いました。



特別ゲストの虫博士



光ケ丘中学区

みんな賢く元気よく！
輝け、光っ子！

光ケ丘中学区は、柏市の中でも南部に位置し、緑豊かで、活気あふれる地域で、光ケ丘小、光ケ丘中で構成されています。青少年相談員の活動のほかに、青少協や、学校と連携、他団体の行事にも積極的に参加協力し、地域に根差した活動を進めています。

～つなぐ～

ヘルスバレー大会

中学生対象に、ヘルスバレー競技会を4月に行いました。新1年生が、先輩、同級生と仲良くなれる機会を設けられればいいなという思いで、実施しました。最初はみんなぎこちなかったけど、最後はみんなで一つのボールを追っかけて、楽しいひと時を過ごせました。



柏市の農の魅力発見ツアー

柏市の農業の魅力を伝えることと観光業の活性化を目的に、柏市内の農産物直売所や農家レストラン、農に関する体験等を巡るバスツアーを行いました。

予想を上回る申し込みで、相談員もビックリしましたが、ツアー自体も、柏の農業の魅力を思う存分味わえた、楽しいツアーとなりました。



ドッジボール大会

小学生を対象に、ドッジボール大会を実施しました。100名を超える参加者が集まって、大盛況でした。相談員だけでは足りずに、中学生のボランティア、地域のおやじの会、旧相談員など、たくさんの方にご協力いただいて、縦と横のつながりを実感できる大会となりました。



柏第三中学区

共に楽しみ、共に学び、
共に育とう！

～泊らんかい～

柏三中学区のスローガンは、子供たちと「共に楽しみ、共に学び、共に育とう！」です。このスローガンのもと、夏休みに「泊らん会」を開催しています。毎年50人以上の児童が参加する、とても楽しいイベントです！！

～カレー作り・火起こし～

各班に分かれてオリジナルカレーのメニューを考えます。みんなで一緒にスーパーに行き、予算内に収まるよう考えて材料を買います。作る班と火起こし班に分かれて仕事を分担し、力を合わせてカレーを作ります。



～肝試し(準備)～

カレー作りの間、中学生ボランティアに肝試し会場の準備をしてもらいます。棺桶、貞子、真っ暗トンネルなど、どうすれば小学生を怖がらせることができるか、中学生が知恵を絞ります。

～レクリエーション～

みんなでカレーを食べたら、次はレクリエーションの時間です。班同士で、ニュースポーツで対戦したり、ストラックアウトやカローリングをしたり、スイカ割りもあります！



👻肝試し☆👻

待ちに待った肝試し。学校の中は真っ暗。お化けに扮した中学生が待ち構える中へ、班のみんなで手をつなぎながら向かいます。高学年でも泣いちゃう子が出るほどの完成度です。大人も結構怖いくらいです。

～体育館で一泊～

体育館で一泊。すぐ眠る子、会話に夢中でなかなか寝ない子、徹夜を試みる子など様々ですが、気づくとみんなぐっすり。学校、しかも体育館に泊まるなんてなかなかできない体験です。



柏三中学区では、泊らん会を中心に、子供たちが楽しめるイベントを考えて活動しています。地域に根付いた活動をしていけるよう様々な企画を計画中です。こんなイベントがあったらいいな、などご意見がありましたら、遠慮なく声をかけてください。

～つなぐ～

柏 第 四 中 学 区

夢を見るから、
人生は輝く



柏第四中学区の担当地域は、柏レイソルのホームスタジアムの日立柏サッカー場を囲むようにあり、この地域内の柏第四中学校、柏第八小学校、名戸ヶ谷小学校の生徒、児童、保護者を活動対象としています。

相談員の発足以来、当学区は学区活動が盛んに行われてきました。長期継続している行事は、リーダーキャンプと三世代ふれあい運動会、音楽の集いです。この行事は、現在では相談員の先輩となる柏第四中学区青少協との共催行事として実施しています。

柏第四中学区相談員が主催している近年の行事は、書初め教室、お菓子作り教室、ダンス教室、八小フェスティバルへのブース参加などです。

■ リーダーキャンプ

開催場所を佐野の秋山学寮から手賀の丘少年自然の家へ変更して開催しました。近場への変更により、少人数スタッフでの開催と、スタッフの部分参加を可能にしています。これはリーダーキャンプの開催を継続可能にするための見直しです。



この見直しで、活動時間が長く取れるようになり、参加者が楽しめる活動メニューを増やすことができました。参加者のリーダーシップを引き出すタイミングの増加効果もあります。

■ 三世代ふれあいミニ運動会

感染症対策で、ミニ運動会という形式で開催しました。名物のパン食い競争は、パンを手で取る競技に変更です。盆踊りや、町会対抗リレーなどの盛り上がる種目ができなかったにもかかわらず、多くの方が参加してくれたことは、地域の期待の現れだと感じています。



地域の期待と運営側の負担のバランスを考えて実施していくことが今後の課題です。

■ 音楽の集い

三校合同で音楽の集いを開催しました。今回から三校合同で四中学区の歌（プロッサム）の合唱を最後の演目としています。プロッサムは、作詞を元名戸ヶ谷小学校校長の笹間ひろみ先生に、作曲を元四中教諭の田嶋勉先生にお願いした、四中学区の合唱曲です。



感染症対策で、三校とも練習ができなかったとのことでしたが、懸命に演奏する姿に感動しました。

■ 書初め教室

柏第八小の体育館で、書初め教室を実施しました。書初めの宿題を家庭で実施することが難しいとの保護者の声があり、書初めできる場を提供する当行事が生まれました。書道の師範に講師をおねがいできたことで、添削指導もあります。今後も、継続したいと思っています。



■ お菓子作り教室

講師は、当地域に焼き菓子店を持つパティシエにお願いしています。メニューは、ベイクドチーズケーキとチョコブラウニーです。



今後も、手作りの楽しさと、家族に喜ばれる楽しさを体験してもらいたいと思っています。

■ 今後に向けて

近年、子供会解散など地域活動の低下が生じています。景気問題や働き方改革などから、保護者世代の意識変化を感じています。しかし「遠くの親戚より近くの他人」のことわざにもある通り、いざというときは地域の支えあいが必要になると思います。

子供たちが育ち家庭をもつときに、それぞれの住んでいる場所で、地域の人たちと支えあえるよう、地域活動の楽しさを伝えていくつもりです。



南部中学区

なんちゅ〜楽しさ！
笑顔届ける南部中学区

南部中学区の担当エリアは、南部中・土南部小・逆井小です。
相談員は、現在6名で活動をしています。

南部中学区は、文字通り柏市の南部地域、松戸市との境に位置し、エリア内には、リフレッシュプラザ柏・柏市南部清掃工場があり、比較的自然豊かな住宅地域となっています。現在の太田柏市長は、土南部小・南部中の出身です。

これまで南部中学区では、夏の風物詩・南部祭りの子ども太鼓や
秋の土南部小学校の土南部まつりでフェイスペイント実施していました



南部子ども太鼓は、
地域の方と協力して30数年続く
歴史ある夏のイベントです。

昔ながらの盆踊りの音やリズムに合わせて
子どもたちは笑顔で楽しんでいました

フェイスペイントは
南部学区のお家芸！
どこの会場でも大人気で
いつも大行列です



ここ数年は、
コロナの感染状況を見極めながら、
柏市発祥のスポーツといわれている
「ふわドッチボール大会」を実施しています。
終了後のお菓子のつかみ取りも大盛況です。



令和4年の秋には、土南部小と逆井小の子どもたちと
一緒に、鎌ヶ谷市「福太郎アリーナ」で開催された
「東葛飾地区少年の日・地域のつどい大会」に参加し、
「タグ鬼ごっこ」を楽しみました。



いつも通りのイベントが実施できない状況が続いていますが、様々創意工夫し、
子ども達のためにより思い出をたくさん作っていきたいと考えています。

タイムカプセル

新型コロナウイルスの感染拡大により定例イベントがすべて中止。少しでも学校生活の思い出を残してもらいたく『タイムカプセル』を埋めました。ちょっとカッコいいスーツケースを発売。子供達の手で埋めるまでの活動をしかけたのですが、感染拡大防止の為、相談員が埋めました。コロナに負けず5年6ヶ月7日後にカプセルを解放します。20期の相談員のイベントを5年後、22期まで引き継いでいきます。



楽 書

20期初の学区イベントとして、書を楽しもうという『楽書』を企画しました。参加者も集まり、いよいよ日曜日に開催という2日前の夕刻、相談員全活動が停止に。その後、ほぼ3年を経過しようかという2023年、ついに開催する事が出来ました。子供達の熱気に包まれ、柔らかな発想から生まれる新しい書に感動しました。



世界料理教室

東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて、世界各国の料理を取り入れた給食を実施した小学校・中学校給食を目にすることがあり『世界料理教室』を始めました。子どもたちが、この活動を通して世界の食文化を楽しく学び合えたら良いと思っています。第1回目の中国編では、餃子と杏仁豆腐を作りました。中国で餃子は「水餃」（ゆで餃子）として食べるのが普通で、日本の餃子の皮と比べるともちり・ポテッとしていて別物感があります。皮を作るので一見大変そうですが、生地の状態をみながら水分を加えて1時間寝かせて生地を上手に作る事が出来ました。子どもたちは、「おいしくなあれ」と生地に声をかけていたり可愛らしい姿が見られました。餃子の具の野菜をみじん切りにするために包丁を使いましたが、子どもたちは上手に切ることが出来ました。皮の中に具を入れて包む作業は、難しいとの声もありましたが、いろいろな形の餃子が完成し面白かったです。杏仁豆腐は、杏仁霜を使って本格杏仁豆腐を作りました。火加減を調節しながら、生地を温めて、トロトロの杏仁豆腐を作ることが出来ました。今回は持ち帰りとなりましたが、お家の方と一緒に食べる事が出来良かったとの声もありました。また、レシピも配布しましたので、ご家庭でも是非作っていただけたらと思います。今後は、日本含め世界各国の特色ある料理を子供達と楽しんで作っていきたいと思います。



酒井根 中 学 区

さあ みんなで楽しもう
さかいねっ子！！

酒井根中学校区は酒井根小・酒井根東小・酒井根西小・酒井根中の4校で構成されています。酒井根中学校区は部活動が盛んで、特に吹奏楽部・陸上部は全国レベルの実力です。

酒井根中学区の毎年夏休みの恒例行事と化している活動です。夏休みの工作宿題対策にと、とても人気のあるイベントですが、コロナ禍により、2022年夏に3年ぶりの開催でしたが、参加した子は、時間を忘れて真剣に作る子・・・親子で悩みながら作っている姿等、毎回印象的なイベントです。



コロナが落ち着いた2022年12月にニュースポーツ体験会を行いました。ここ数年、話題のモルック・ポッチャ等の体験で、子供たちは初めて行う種目ばかりの中、狙ったところにボール投げられた・失敗した等の歓声・悲鳴・・・が響いて楽しい時間でした。最後に12月なので、相談員からのクリスマスプレゼント付きです。



最後に21期酒井根中学区のメンバーと木工教室の講師との1枚です。

今後もこのメンバーで子供たちに楽しい時間を届けたいと思います。



西原中学区

団結第一。子ども第一。
自分第一。

西原中学区では、毎年2月頃に行っている「フランス菓子のミレー」さん主催のケーキ教室を中心に、ランニング教室やヘルスパレーボール大会などの各種イベントを行っています。

スポンジケーキの作り方を説明中



電動ミキサーはこう使うよ！



生クリームの塗り方を説明中



全体写真 みんなでパチリ



ランニング教室

講師の先生のもと、新聞紙を胸に広げ、落とさないよう走ったり、はしごを使ってリズムカルに足を運ぶ練習、前傾姿勢の練習など、走る楽しさを体感しました！



西原中学区について

西原中学区では、地域の青少年健全育成推進協議会によるスポーツ・レクリエーション等の行事を行っています。

この他にも地域に根付いた活動をしていけるよう、様々な企画を考案中です。

こんなイベントがあったらいいな、等のご意見がありましたら、遠慮なく声をかけてください。



逆井 中 学 区

子どもたちの笑顔が花咲く
思い出あふれる逆井中学区

逆井中学区は、藤心小学校、逆井小学校、増尾西小学校の子どもたちと一緒に、様々な学区活動を楽しんでいます。新型コロナウイルス感染症の影響で活動がストップしたりもしましたが、Youtube を使った活動や感染症対策をしながら身体を動かす活動にもチャレンジしてきました。日々変化していく子どもたちを取り巻く環境に対応し、これからも新しい学区活動を考え、実施していきたいと考えています。

牛乳パック de ホットドッグ 2017年～



パンにソーセージを挟んで、アルミホイルで包んで、牛乳パックに入れて火をつけて焼き上げます。いまではすっかり学区イベントのランチタイムの定番！



ダイヤ凧（たこ）を作ろう 2017年～



年1～2回の学区イベントを中心に、青少年健全育成推進協議会のイベントやふじっこまつり（藤心小学校）への協力などの活動を行っています。すべての活動について、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら企画しています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！ 逆井中学区 学区長

ヘルスバレーボール大会 2018年～



おうちで作って、スマホで参加 牛乳パックでコマを作ろう 2021年～



変なうんどうかい 2023年初開催



～つなく～

『つなぐ・ひろがる・松葉の笑顔』



私たち 21 期相談員はこのスローガンを掲げ、松葉中学区地域の子どもたちの笑顔を広げる活動を行っています。2019 年初頭から新型コロナウイルスが猛威を振るい学校でのイベントが軒並み中止や縮小となり、閉塞感が漂う中、思うように活動ができない状況がありましたが、2022 年後半からようやく活動再開しました。

7 月 ほたる観賞会（田中中学区主催）参加

久しぶりのイベントとあってか 20 名の定員に対して 100 名以上の応募がありました。花野井小までの移動を安全に行うために数名の保護者の方にもご協力いただき、イベント後も保護者の方から感謝のメールを頂くなど本当に励みになりました。



11 月 JAXA バスツアー

感染症対策を行いながら大型バスで密にならないよう行ってきました。いろいろな展示物や体験ブースなどでの子どもたちの輝く瞳が印象的でした。



～ボウリング大会～

中原小・八小・豊小から初めてクラスメイトになる皆の交流を深めるため、中原中学区では毎年新中1年生を対象に南柏駅にある「ヤングボウル」でボウリング大会を実施しています。

初めての共同作業！！これからの中原中学校の3年間で皆で盛り上げよう！！



～ドッジボール大会～

子供は風の子元気な子！寒い冬をドッジボールで乗り切ろう！を合言葉に中原小・八小・豊小対向でドッジボール大会を真冬の2月に執り行いました。「センデ！！センデ！！」（線出てる）と競技も心もぽっかぽかになった1日でした。



～飛べ！傘袋ロケット～

雨の日の皆なじみの傘袋。こどものつどいではその傘袋を使ってロケットを作っちゃいました！どの傘袋ロケットが一番飛ぶかな！？発射！！



～ゆずり葉コンサート～

毎年豊小で12月に行うゆずり葉コンサート。3年ぶりに開催されました。中原中学区青少協の会長と準備に追われます。皆楽しんでくれると良いな♪



豊四季中学区

とわに よき仲間と
しっかり絆を
きずく豊四季学区



もはや豊四季伝統芸能



大人気で 順番待ち



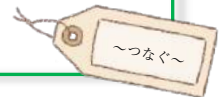
ピンポン玉をハウンドさせて
的に入れるだけ、
単純だけど面白い。

海上自衛隊下総航空基地見学



豊四季中学区は、

小学校児童向けに、柏二小祭り、旭小祭りに参加してハウンドピンポン体験、その他のイベントとして、手打ちうどん作り、施設見学イベントを行っています。中学校生徒向けには、3月にボウリング大会を開催しています。相災員事業のわんぱくこども祭りやオーバーナイトハイクにも積極的に参加していて、相災員同士の結束力があり、OBOGも協力してくれる、和気あいあいの学区です。



手打ちうどん作り体験



完成
ハチハチ↑
熱湯に気を付けて、

真剣に説明を聞いて、



湯で茹でて

こねこね開始



のばして、のばして~

捏ねた生地を休ませている間に



工作開始

今回は、正月飾りです。うどん作り体験は12月に開催なので、クリスマスか、正月向けの工作が多いです。

ボウリング大会



3年生は豊四季中の最後の思い出に、1,2年生は新しい校友を作ります。



これが、こうなった。
称え合う仲間たち!



~結果発表~ お疲れさまでした。

ボウリング初体験の子も、久しぶりの子も楽しみました。



~優勝と booby 賞~ これもお思い出



とわに
よき仲間と
しっかり絆を
きずく豊四季



沼 南 4 学 区

風早 ER'S DAY (風早)
伸び×2楽しく頑張れ手賀っ子 (手賀)
やればできる! (大津ケ丘)
つどえ☆やなぎっ子! (高柳)

沼南4学区は、手賀中、風早中、大津ケ丘中、高柳中の4つの中学校区からなる大所帯です。

• 沼南わくわく体験



手賀の丘公園で行ってきた沼南4学区伝統のわくわくキャンプは形を変え、まず鹿倉農園さんで枝豆の収穫体験をしてから、柏しょうなんゆめファームに移動し、みんなでストラックアウトやモルック、そして沼南と言えばスカイシャトル作りで遊んでから、BBQ。普段なかなか食べられない泥ねぎの丸焼きもあり、甘い!美味しい!と大好評でした。

最後に花火をして、夏休みの楽しい思い出となりました。



• ニュースポーツ体験会

風早中学校の校庭で初めて開催し、子どもたちだけでなく、保護者の方も来場し、スナッグゴルフ、ストラックアウト、モルックを体験してもらいました。

子どもでも大人でも、初めてでもコツをつかみやすく楽しめるニュースポーツ。

皆さんの笑顔が見られ、私たち相談員も大いに楽しむことができました。



・花火について学ぼう&サプライズ花火大会

高城煙火店さんにご協力してもらい、模擬玉で作る貯金箱の材料配布と花火の打上げに使う筒や点火機等の展示を行いました。初めてみる実物に子どもたちは大変興味を持っていました。また、子どもたちにはメッセージカードを書いてもらい、後日、そのカードを花火玉に貼り付け、子どもたちの願いが叶うよう、冬の夜空にサプライズ花火を打ち上げました。メッセージの多くは、新型コロナの終息を願うものでした！



・観光バスツアー

大型バスを貸し切り、50名の小学生と一緒につくばエキスポセンターを見学し、その後益子焼の絵付け体験、さらにSL真岡号に乗車するという、学校の遠足では体験できないようなバスツアーを開催しました。沼南4学区の8校から集まった子どもたちですが、車内でレクをしたりし、すぐに友だちになり、とても楽しんでいました。



柏の葉中 学 区

遊ぼう、笑おう、子ども！
さあ、一緒に。

2019年に柏の葉中学校区が新たに設置されました。柏の葉中学校・柏の葉小学校の2校で編成された新しい学区です。T×柏の葉キャンパス駅を中心とした近隣に商業施設が立ち並び、子育てイベントには欠くことのないエリアです。私たちも小学校や中学校、周辺の地域自治体の方と連携しながら、小学生には自主的・主体的にイベントを楽しんでもらい、中学生には地域ボランティアとして奉仕する心を育むサポートをしています。

夏

みんなおいでよ！地域のつどいの場

かしわのはラジオ体操



新しい街ゆえに伝統ある町会や子ども会がまだ根付いておらず、夏のラジオ体操を行うことで縦つながりの世代間交流のきっかけを作りました。

地域の自治体のご協力のもと、千葉大学の広場をお借りして8月の第3週間目の平日5日間、200人規模で開催しています。



冬

パパママ公認！ずっとやっても怒られないゲーム

テーブルゲーム大会



寒くて引きこもりがちな冬休みには、人生ゲーム・オセロ・将棋・ちえのわなどの定番ゲームをはじめ、マンカラ・ナインタイル・ワードバスケット・ベルズ・タン布林ダイスなどの新感覚のゲームを取り入れたテーブルゲーム大会を行っています。白熱するゲーム展開の傍らで、対戦相手となった友だちと新たな友情も芽生えていきます。


小学生・中学生をメインに、おじいちゃん、おばあちゃん、パパ、ママ、赤ちゃん、地域で働く人々など、みんなが主役になれる交流の場がイベントを通して柏の葉に構築できたらと考えています。

～つなぐ～

柏市青少年相談員連絡協議会

60th
Anniversary






子どもたちとともに 60年の想いをつなぐ

青少年相談員は、60年間で、のべ3,500人

青少年の健やかな成長を見守り支えていくために、
地域の特色を活かした活動を通して、
時代の変化に対応しながら、歴史をつなぎ、活動を続けてきました

コロナ禍により活動を止めることを余儀なくされたことは大きな痛手でしたが、
相談員は一致団結し、様々な工夫をもって、その壁を乗り越えてきました



「竹は節があるから、そこを起点にしなやかに伸びる」

60周年という節目を大事にし、
この活動を未来へ「つなぐ」ことを、心に刻んでまいります

青少年相談員の新時代へ



あ と が き

60周年記念行事実行委員長 岩淵弘美 (第21期執行部副会長・豊四季中学区)

60周年を迎える節目に、記念行事実行委員長を拝命しました。
記念誌の発行、および式典開催にあたり、多くの皆様のご尽力ご協力をいただきました。
この場をお借りして、お礼申し上げます。

60周年実行委員会はコロナ真ただ中に動き出しました。当初は、先の見えない社会情勢の中、ひっそり記念誌だけでも出せば…そもそもやるのか…と、不安に揺れながら始まりましたが、なんとか式典も開催出来るようになったことは幸運でした。

準備にあたり、先輩方につないでこられた長い歴史を振り返ってきましたが、改めて地域のサードプレイスとしての青少年相談員の意義深い存在を再確認する貴重な機会となりました。周年事業として仲間で作上げたものは、自分たちの相談員生活の集大成になったと自負しております。

変化する時代の中ではありますが、わたしたち自身にとっても楽しくも大事な居場所であるこの場を、次の世代へ途切れることのないよう、大切につないでまいりたいと思います。
どうぞ今後とも、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

編 集 後 記

60周年記念誌編集長 浅野博信 (第21期執行部幹事・柏二中学区)

柏市青少年相談員創設60周年にあたり、その足跡を辿ってみました。
時折、「10年はあるという間」と言われますが、この10年にもひとつひとつ積み重ねた歴史がありました。
その歴史、さらに青少年相談員としての矜持を、次の世代につなげていければとの思いで、この記念誌を編纂いたしました。
今後は、青少年相談員の仕組みは変わりますが、我々のマインドは変えることなく、地域のため、今後も青少年の健全育成に携わってまいりたいと考えておりますので、ご支援のほどお願いいたします。

柏市青少年相談員連絡協議会 創設60周年記念誌 令和5年11月11日発行

編集 柏市青少年相談員連絡協議会 60周年実行委員会記念誌班
発行 柏市青少年相談員連絡協議会 60周年記念事業実行委員会

Mail : info@kashiwa-soudanin.org

裏表紙裏白紙

